

コンさる君の 今日も視界良好

4月号

代表・総務・インターン編

⑤ 「人と会ってエネルギーを充電」 代表取締役 長尾 康行 (中小企業診断士)

皆さん、こんにちは。フラッグシップ経営代表、中小企業診断士の長尾です。2024年4月の1分が終わりもう4月に突入です。4月は私の誕生日でもあり、フラッグシップ経営の設立月でもありますので個人的には節目といえますが、気持ちが新たに切り替わる月でもあります。気持ちは20代前半(10代という説も!?)ですが私も46歳になります。

フラッグシップ経営は創業から14年(法人設立から7年)が経過し15年目に突入します。多くの方々の支えがあって、心身ともに健康で会社経営も比較的順調に過ごすことができていますことに感謝しながら、今後も緩むことなく事業規模の拡大や品質の向上に努めてまいります。

さて、近況報告になりますが最近いろいろな方と実際に会うことを意識しています。同業の方やそのお友達、地元の同級生やそのお友達などと会う頻度がかかなり増えてきました。私はあまり〇〇の会や〇〇団体には可能な限り所属せず、顔も出さず、できれば目立たずに生きていたい性格ですので、積極的に人と会おうと考えて行動することは私にとって珍しいことなのです。そんな私が頻繁に出かけて人と会うようにしている理由は、自分自身に行き詰まっている感や心のエネルギーの枯渇などを感じる事が多くなり、外部から刺激をいただきながら気持ちを整理していくことが今とても重要で必要としていることだと思ったからです。また、自分が抱えている問題や課題の解決ができなくても、元気な人と食事をしていただけで元気になります。

現代社会ではストレスや心身の不調に悩まされやすくなることも多いですが、自ら行動を変える、考え方を考えるなどの工夫をすることでうまくバランスをとることが可能ですし、スポーツやジム、旅行に行くなどもリフレッシュに役立ちます。

早くも2024年の第1四半期が終わりましたが、気候もよくなってきますし、個人的には節目の月ですので例月以上に楽しみながら、ビジネスもプライベートも楽しみたいと思います。



代表取締役 長尾 康行

⑥ 「BJリーグの試合を初観戦」 代表取締役 長尾 康行 (中小企業診断士)

先日、仕事の流れでプロのバスケットボールの試合を見る機会を頂戴しました。バスケットボールの試合を生で見るとは初めてで、そのスピードや精度、パワフルさがシンプルに伝わってきて面白かったです。また、試合中もDJっぽい人の説明や試合前や合間の照明や音楽、チアガールの応援、B級グルメの屋台などエンタメ要素も盛り沢山で家族や恋人といっても楽しめるのではと思います。皆様も一度、BJリーグの試合に足を運んでみてください。



⑦ 「経営状況の悪化を掴むポイント」 マネージャー 木戸 貴也 (中小企業診断士)

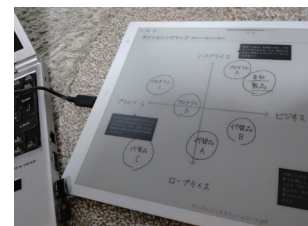
社会人となってから約12年間、金融機関とコンサルタントの立場で中小企業の方々と接してきましたが、経営状況が悪化している会社、これから悪化する予兆がある会社には共通点があります。当てはまったからと言って、必ず経営状況が悪化しているというわけではないのですが、決算情報などの内情を知らなくても感じやすいのは、ヒトに関することです。

代表例は、「経営者とのアポイントが取りづらくなることや日中、何をしているのかわかりにくくなること」、「中心となる従業員の退職、1年中求人を出しているなど出入りが激しいこと」、「漠然と事務所や工場など職場の雰囲気が変わった、変に感じる事」などです。訪問した際、これらの観点を意識していると何となく直観で分かるようになってくるものですし、これらの定性的なポイントで感じた違和感は、意外と当たっているものです。金融機関からの評価としてだけではなく、取引先の与信管理の面においても社長や営業担当の方は、訪問時などに自分なりの観点を携えて信用リスクを肌で感じ取りましょう。



⑧ 「初めての電子ノート」ビジネスアナリスト 伊藤 侑加

先月、誕生日を迎え、会社からの誕生日プレゼントとして電子ノート「クアデルノ」をいただきました。以前から購入したいとは思っていたものの、実物を見たことがなく、最初に外箱を開けて驚いたのは「本体の軽さ」です。iPadぐらいの重さだと思っていたので、とても軽くて驚きました。ペンも書き心地がよくとても満足しています。インターネットに繋ぐことが出来ない点は「マイナスかな?」と思っていたのですが、ネットがあるとすぐにネットサーフィンをしてしまう性格なので、ネットに繋がらない方が集中できて良いと思いました。まだ、フレームワークのテンプレートや、ちょっとしたPDF資料を取り込んでメモ書きしてみた程度なので、これから色々ためていきたいです。もし、電子ノートをお使いの方で、オススメの使い方をご存知の方がいらっしゃいましたら、是非教えてください!



⑤ 「笑顔はエネルギー」 経理・総務 松野あやか

私は、大学時代にビアレストランでアルバイトを4年間しておりました。プライベートでも仲良く、一緒に働いていた友人3人と先日、食事に行ってきました。食事の場では、アルバイト時代の懐かしい話やお互いの近況報告など、4時間程ずっと話していました。5年ぶりに会い、待ち合わせの際には、「あーちゃん（私のニックネーム）、誰か分からなかった!!」と友人が言っていました。大学を卒業し、それぞれ違う業界に就職し、違う環境で過ごしていましたが、全員が共通して言っていたことは、「笑顔を見るとまた明日から頑張ろうと思えた。」「良い気分転換になった。」「外見は変わったが、中身は昔から全く変わらず安心した。」でした。3人とはアルバイト時代に喧嘩したこともありましたが、友人3人の笑顔のおかげで、もっと仕事を頑張ろうと思えました。



⑥ 「消費者の視点と生きやすさ」 インターン生 小甲 智也

消費者の嗜好性には一定の傾向があると感じています。例えば労働者と資本家でカテゴライズすると、労働者は時間を金銭に変えることから、金銭に価値の重きを置いているために節約といった発想が生まれやすいのでしょうか。一方で、資本家や経営層の場合は保持している金銭が多いことから、労働者の時間を金銭で買い更なる資本を得ていることから、時間に重きを置いているでしょう。ノマド的な生活を行う人の一部のように、この資本主義的な枠組みでは収まらない独自の価値観を持った方もいると思います。これら3つの精神的ストレスを比較した際に、一番ストレスが多いのは経営層ではないでしょうか。取り返せない時間に価値を置いている人ほど、窮屈な気分を味わうのではないのでしょうか。また、最も生きやすいのは独自の価値観を貫いている人かもしれません。

⑦ 「注意喚起」 インターン生 野稲 大樹

私の家には中学生のころからフクロモモンガがいます。名前はいんちゃん、女の子です。とにかく可愛くて家族で溺愛しています。彼女は夜行性で、日中はリビングにあるケージで寝ているのですが、夜になると活発になるので、部屋の電気を消し、ケージを開けてリビング内に解き放ちます。そんな可愛いいんちゃんですが、先日事件が起こりました。その日も夜になり、いつものようにいんちゃんを電気を消したリビングに解き放っていました。彼女は部屋中を走り回り、とても楽しそうにしていたのですが、しばらく経ってから彼女が同じ場所でもぞもぞしているのに気が付きました。様子を見に行くと、何かをポトッと落とし走り去っていきました。電気をつけてその正体を確認してみると、まさかのカメムシでした。しかも頭部と前足2本しか残っていない状態で動いていました。私は絶句、横にいた母親は叫びました。かわいいいんちゃんがカメムシを食べてしまったのです。もともと雑食動物だったこともあり、いんちゃんはいつも通り元気になっています。2日間ほどカメムシ臭が取れませんでした。これからの季節、家にペットや小さなお子さんがいらっしゃるご家庭は気を付けてください。

⑧ 「罰」 インターン生 宮川 尚也

こんにちは、インターンシップ生として勤務させていただいている宮川尚也です。最近、インターネットで大好きな芸人さんのコラボキャップを買い、先日届きました。ワクワクな気分帽子をかぶって外出し、一時間ほど経って頭を締めつけられている感覚。鏡を見ると、オデコを上部と下部に二分割するような赤い線が浮き上がっていました。お気に入りのキャップがかぶれなくなった。もっと大きな問題としてこの帽子はフリーサイズだったのです。私は、世間的に頭がデカいという事実を突き付けられてしまいました。事実を受け入れられなかった私は、締め付けを全く感じない浅い角度でかぶろうと悪あがき。さすがに不格好だったので、お気に入り着帽ライフをようやく諦めました。今はインテリアとして机の上に鎮座しています。新しいインテリアを見つめながら、冷静に考えました。一番初めにかぶった時から、キツイって思ったなあと。初めにかぶった瞬間から、頭が大きいという事実気づきつつ目を背けていたなあと。私の頭がデカいなんて認めたくないという意地を張って、事実から目を背けた罰が赤い線だったのです。帽子様、もうつまらない意地は張りません。

⑨ 「自己分析」 インターン生 平手 陸翔

私はちょうど1年前の4月にこの会社で面接を受け、そのときの緊張感とワクワク感、受かったときの喜びはこれからも忘れることはないと思います。さて、私は4月から大学3年生になり、ゼミでの研究活動や就職活動が始まり、自分と向き合うことの多い年だと感じています。そこで今回は「自己分析」について考えます。自己分析とは自分の強みや弱み、気持ちに徹底的に向き合うことだと思います。「なぜそれを強みと言い切れるのか」、「どのようなところでその強みを発揮できるのか」、あるいは「弱みだと感じている部分にどういったアプローチをしているのか」、などと挙げ始めるときりがありません。そのきりがない疑問を解き続ける作業こそが自己分析なのだ最近気づくことができました。生活している中で自分と徹底的に向き合う時間を作ることができている方はどれくらいいらっしゃるのでしょうか。少なくとも私は自分自身、日々生きることに追われてしまっていると感じています。就職活動という好機をうまく活用し、自分自身についてもう1度深く考え直す、そんな3年生の1年間にします!



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関
大阪 本社：〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目2-7 ORIX 高麗橋ビル5階
和歌山支社：〒640-8392 和歌山県和歌山市中之島1518 中之島801ビル 12階
TEL：0120-34-8776 FAX：06-7635-8214
MAIL：info@flagship-keiei.co.jp URL：www.flagship-keiei.co.jp



⑤ 「次世代に伝えること」 アソシエイト 日野 慎太郎



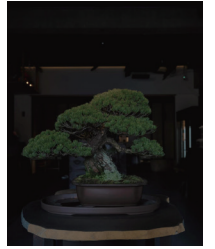
先日、93歳になる祖母に会いました。まだまだ元気、逆にパワーをもらったぐらいです。祖母は戦前、戦中、戦後を生きてきており、小さい頃から戦争の話をよく聞いていました。祖母の父親が戦争に行き、乗っていた船が沈没し、3日間、瓦礫に囲まれ漂流しなんとか助かったことや、兄弟2人が戦死し、家族全員で泣いたことなど、今の時代ではどれも、現実起こった事とは信じられない事ばかりです。

私は、戦後の時代でしか生きていないので、今の豊かな生活が当たり前のように思っていますが、世界中を見るとまだまだそうではありません。少しでも戦争のない世界に近づけるように、私の子供、孫の世代に祖母の思いを伝えていくのが私達世代の役目だと感じました。

⑥ 「密かに始めた趣味」 ビジネスアナリスト 秋定 皇輝



同僚から1日フリーな日ができると何がしたいですか？と聞かれました。その際は、全く何も浮かばず…しばらく考えたのですが、一番してみたいことをすっかり忘れていました。東京・南青山にある「松葉屋茶寮」に行くことが、今一番してみたいことです。同所は「盆栽界の異端児」と称される小島鉄平氏が手掛ける盆栽カフェです。ラグジュアリーホテルやスーパーカーなど、あらゆるジャンルと盆栽とを掛け合わせるセンスが同氏を有名にしました。そんな同氏が、盆栽の精緻な美しさを堪能し茶と菓子を嗜むをコンセプトに、盆栽ギャラリーを併設した日本文化の新拠点となっております。カフェでは和菓子だけでなく洋菓子もあったり、お茶も



お酒も楽しめたりするなどジャンルに囚われずさまざまな文化体験ができることも気になるポイントとなっております。盆栽ってなんかカッコいいな、程度の気持ちからのスタートではありますが、一度訪れて盆栽の味わいや日本古来の美や喜びを感じてみたいと思います。

⑦ 「遺伝子にスイッチが入るとは」 ビジネスアナリスト 古川 悠樹



先日、元サッカー日本代表岡田監督の記事を見る機会がありました。現在の岡田さんは愛媛県にFC今治高校というサッカーを教えるのではなく、フィールドワークが中心の高校創設に向けて動かれております。その記事の中で、興味深かった内容が、「遺伝子にスイッチが入る」です。これは、「人間の遺伝子には、百科事典3200冊分の情報が入っているけど、そのほとんどは普段眠っている。何らかの刺激を受ける事でスイッチが入り、大きな力を発揮することができる」という内容でした。この記事を読んで、私自身の遺伝子にスイッチが入った瞬間がいつだったのか考えていました。社会人になり様々な経験をさせて頂きましたが、入社3年目に経験した大規模システムトラブルが自分自身にとっての遺伝子にスイッチが入った瞬間でした。当時私は営業なのでシステムの細かな内容は把握できませんでしたが、ありとあらゆる手段を用いて関係者を集め課題整理に奮闘しておりました。3日間家に帰れず、客先からは多大な叱責を受けましたが、何とか乗り越えたこの経験は私にとっての遺伝子にスイッチが入った瞬間でした。皆様も、遺伝子にスイッチが入った瞬間を一度考えてみる時間を設けてみてはいかがでしょうか？

⑧ 「往訪して感じたこと」 ビジネスアナリスト 加藤 泰地



入社して一カ月が経ち、自分の無力さを痛感しつつも様々なことにアンテナ立てて頑張らねば…とっております。そのような中、多くの往訪をして感じたことを今日は書きたいと思います。中小企業の社長というと、ドラマ等で扱われる際は苦勞が絶えないという役柄であり、私もそのように思っていました。経営者として従業員を守るという責任、日々利益など多くの数字に向き合うことなど、社会人を4年しか経験していない私にとっては逃げ出したいような環境だと思っていました。しかし、実際往訪して毎回思うことが、当社の取引先様の社長の皆様はとても楽しそうに仕事をしておられ、「大変すぎる」という印象を受ける社長はひとりもいらっしゃらず、それとは違う生き生きとした社長さんしかいらっしゃらなかったのです。ある社長様が「楽しく仕事をするポイントとして何にでも興味を持つことが重要だ」とおっしゃっていました。最初の自分の無力さに通じる部分もありますが、無力だと自分で感じたのであれば、日々の努力を怠らず経営コンサルタントとしての実力をつけ、私のお会いした生き生きとした社長の皆様を一日でも早く支えられるように頑張りたいです。

⑨ 「自己紹介」 ビジネスアナリスト 谷七音



3月に入社しましたビジネスアナリストの谷七音（タニナオト）と申します。前職では、IT業界でシステムエンジニアと営業を担当していました。ITの分野から企業の課題解決に携わる中で、より多角的かつ経営的な視点から企業に貢献したい思いが強くなりコンサル業界への転職を決断しました。現在は中小企業診断士試験に合格し、登録中です。

事業者様や金融機関・公的機関の方々から信頼されるコンサルタント（診断士）を目指し、日々精進してまいります。お会いできる日を楽しみにしております。

生年月日：1998年6月7日 出身：神戸市 趣味：テニス



⑤ 自己紹介 ビジネスアナリスト 社内愛里

3月より入社いたしましたビジネスアナリスト職の社内愛里です。前職では医療業界で医療用医薬品や医療機器の営業をしておりました。他業界からの転職で不慣れなことも多いですが、事業者様に信頼していただける人材を目指し日々成長していきます。これからどうぞよろしくお願いいたします。

最近少しずつコーヒーのおいしさを覚え始めました。弊社の近くにはカフェがたくさんありますので、少しずつ開拓しようと思います。

生年月日：1998年4月19日 出身：大阪府 趣味：入浴剤集め、ジム



⑥ 「雰囲気の大切さ」 営業事務 吉川鈴夏

最近より良い会社つくりのため文化面について考えることが増え、中学時代の部活での出来事を思い出しました。自分で言うのはなんですが、大阪で有名な学校のバドミントン部で学年を代表するダブルスを組んでいました。相方とは仲が良かったのですが、試合中にミスが続くとイライラする性格で、雰囲気が悪くなり更にミス連発、、、そんな相方をみて私もイライラ、、、なんてことが多々ありました。ある大会の予選で、同校のダブルスと当たりました。今まで負けたことのない相手、なんなら毎回優勝している地区大会で最悪ムードが始まってしまいました。徐々に点数が離され、「このままでは負ける。」と感じ、この状況を変えるために私はシャトルを交換するよう審判にお願いしました。少し試合が中断されてリセットでき、そこからはいつものペースを取り戻し無事に勝つことができました。この経験を思い出し、会社に置き換えて考えることができるなと思いました。これから空気が重いな、暗いなと感じた時には雰囲気をリフレッシュできるような策を考え、働きやすい職場環境をつくりたいです。



⑦ 「コンサートに行ってきました」 営業事務 造田 朋夏

以前のニュースレターでサバイバル番組が好きということを書きましたが、サバイバル番組から結成されたグループのコンサートに先日行ってきました。普段は韓国で活動をしており、日本での単独イベントは今回で4回目だったのですが、メンバーの可愛さやパフォーマンス力の高さにはもちろん、メンバーの日本語の上達度にとっても驚きました。デビュー当時は日本語を喋られるメンバーはほとんどいなかったのですが、今回のライブではほぼ通訳無し状態でトークをしており、毎日忙しい生活の中でもこんなに短期間で語学の習得ができるのだと改めて感じる事が出来ました。期間限定グループということもあり、もう少しでグループ活動が終了してしまうことはとてもさみしいですが、また会える日まで仕事も趣味もコツコツ頑張ろう！という気持ちになりました。



⑧ 「霧の中の初ラウンド」 営業事務 中村 菜摘

先日、ラウンドデビューしました。雨予報でしたが、雨天決行とのことで、前日まで猛練習をして臨みました。到着すると、霧が濃く、50ヤード先もほとんど見えませんでした。ゴルフ場のスタッフからは「本日キャンセル料はかかりません。プレイするかどうか決めてください。」との言葉がありました。周りのお客様は次々とキャンセルして帰っていく中、「せっかく来たからしよう！このコンディションでデビューしたら、これからは上達するしかない！」という声があり、正直、帰りたい気持ちもありましたが、プレイすることになりました。

一緒にラウンドした方も「100回以上ゴルフに来ていますが、こんな日にするのは初めてです。」と話していました。濃い霧の中、なんとか18ホールを回り、スコアは161でした。翌日は全身筋肉痛で動けず…。雨と霧でとても過酷でしたが、思い出に残るラウンドデビューとなりました。もっと練習して、次は晴れた日に挑戦したいと思います。



⑨ 「効果抜群のサーフフィット」 営業事務 市位 桃花

社会人になってから運動をする機会が随分と減り、健康のために運動を始めようと思っています。過去に自宅での筋トレ、ホットヨガ、サーフフィットをしたことがあり、一番しんどく、効果を感じたのはサーフフィットでした。サーフフィットは「サーフィン×フィットネス」の造語で、固定されたバランスボールの上に乗ったサーフボードに乗ってヨガのようなエクササイズをするものです。初めの頃はボードがかなり不安定なので立つことも難しく、立てても笑ってしまう程にプルプル震えるか微塵も動くことができませんでした。

一クラス終えるまでにはボードの上で簡単なポーズを取れるようになり、終わった後の達成感が心地よく、体の歪みが矯正され、真っすぐ立っているという感覚を味わうことができます！サーフフィットをした次の日に会った友人にも「なんか今日めっちゃ真っすぐじゃない？」と言われたことがあるので、気のせいではないはず。何かおすすめの運動があれば教えていただきたいです♪



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

大阪本社：〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目2-7 ORIX 高麗橋ビル5階

和歌山支店：〒640-8392 和歌山県和歌山市中之島1518 中之島801ビル 12階

TEL：0120-34-8776

FAX：06-7635-8214

MAIL：info@flagship-keiei.co.jp

URL：www.flagship-keiei.co.jp



今日も視界良好 和歌山オフィス編

⑤ 「515,359」コンサルタント 杉本 貴弘（中小企業診断士）

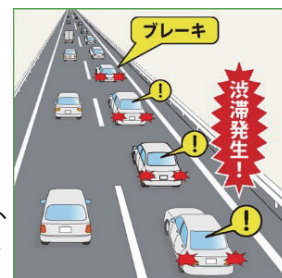


表題の515,359という数字。この数字にピンと来る人は、よっぽど税務会計に精通した人ではないでしょうか。そう、これは3月決算の企業の数です。国税庁の統計によると年1回決算の企業は2,847,279社、そのうち3月決算の企業数が515,359社であり、全体の約18%の企業が3月に決算を迎えます。ちなみに2番目は9月の308,972社（10.85%）、3番目は12月の297,963社（10.46%）です。3月は国や地方の会計年度末、企業も3月が決算月という会社が多く、自身や周りにも忙しい人が多いかと思えます。しかし、この統計を見た個人的な感想としては「思ったより少ないな」というものでした。会計事務所に勤務していた頃はこの時期は非常に多忙で、2月16日～3月15日の確定申告や5月末に申告期限を迎える3月決算企業の税務申告の忙しさに悲鳴を上げておりました。その印象からか、世の中の大半の企業は3月決算であると思い込んでしまったようです。自身の思い込みを客観的な数字やデータで打ち破られる…なかなかショックな出来事です。もし他人の思い込みが間違っていない客観的なデータを突き付けるだけでなく、それとなくフォローを入れようと思うのでした。

⑥ 「交通渋滞から学ぶ組織の問題」ビジネスアナリスト 橋本 大治



大阪の本店に本社する際、6時45分頃に家を出発するのですが8割方、朝礼の時間（8時半）には間に合いません。高石当たりでいつも渋滞に引っ掛かります。先日、いつもの如く渋滞に捕まっていると、渋滞が発生する理由はわかりますが「渋滞が解消しないのは何故か」と疑問を持ちました。前提としまして、渋滞が発生する理由と渋滞が重度化する理由は同様であり、割り込みや坂道などによるブレーキの連鎖だそう。A車が1秒ブレーキを踏み、それを視認したB車が余裕を持って2秒ブレーキを踏む。このような事が連鎖的に重なり渋滞が発生するそうです。



次に、渋滞の解消方法は至極簡単に申し上げますと「なるべくブレーキを踏まない（渋滞吸収走行）」ということです。ブレーキの連鎖を見越して車間を空けながら詰まりすぎないように速度を落として後続車もそれに従う。すると、低速で前の車との車間を詰める間に更に前の車がはけていくという理論です。

単純な方法ですが言うは易く行うは難し。口で言うほど簡単には実現しません。橋本も幾度となく取り組みますが①携帯を触っているのか車間が開いても発信しない車や②前の車の急ブレーキによる想定した以上の車間の詰まりによる自身のブレーキ、③後続車の急速な車間詰めとブレーキなど、自身だけの努力ではどうにもなりません。

きっと渋滞の前の方では自身と同じように緩和に取り組む人がおり、渋滞の先頭には止むを得ない理由によりブレーキを踏まざるを得なかった人がいるのだらうと思いを馳せながら橋本は渋滞に飲み込まれ続けました。渋滞中の全車両と連絡を取り、「せーのっ！」でアクセルを踏めばスムーズに進めるのに。渋滞以外でも信号が青になった際に「せーのっ！」でアクセルを踏み、効率よく進めばもう2台は信号を渡れたのに。等々、理論通りにいかないことは日常多々あります。

ここからは組織に関するお話となりますが交通渋滞に似たような問題は普段の集団生活でもよく起きているのではないのでしょうか。企業を例にとると先頭（社長）は様々な外部環境やステークホルダーを鑑みてアクセルやブレーキを踏み、ハンドルを切り、後続の管理職や従業員がそれに続く。その中で先頭車（社長）の意を汲み取りスピードを調整する人、不満を言いながら急ブレーキや急発進を繰り返す、渋滞を発生・重症化させる人が発生します。発生自体は仕方ないことですが渋滞は早く解消したいですね。企業に関しては幸いにも渋滞中の車両間よりもコンタクトが取りやすいです。まとめですが改めて日々のコミュニケーションや社風の浸透を通じて足並みを揃えていくことが重要だと感じました。

⑦ 和歌山 NEWS 「和歌山支店 採用活動邁進中！」

和歌山支店ではご支援の拡大や体制の強化に向けて採用活動を行っております。先日は和歌山県で行われた「再就職・転職フェア」に出展してきました！

たくさんの企業の方々が集まられており、和歌山の活気を感じました。「和歌山の経営改善と言えばフラッグシップ経営！」となれるよう採用活動も進めて参ります！

